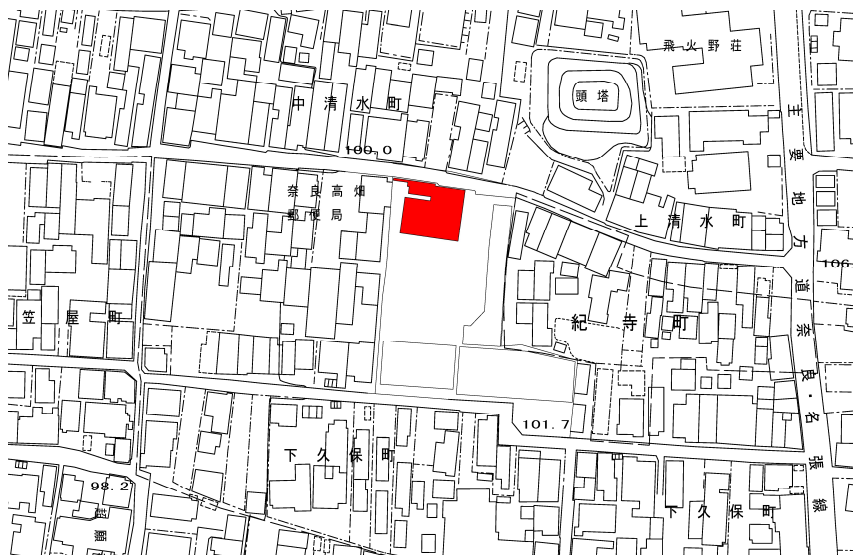


歴史的風致形成建造物 指定台帳

指定番号	40	名称	奈良春日山酒造株式会社	
指定年月日	R8. 3. 24	所在地(指定地)	高畑町 915 番地	
指定建造物	主屋	建築年代・概要	明治 4 年	木造つし二階建、切妻造、平入、棧瓦葺
指定建造物	塀	建築年代・概要	昭和中期	木造、棧瓦葺
位 置 ・ 歴 史	福智院の交差点から東に300m程の通称中清水町にある。清水通りと呼ばれる通りに北面して間口40m奥行70mの広大な敷地を構える。付近は奈良時代に玄昉が清水寺を創建したと伝え、近世には清水が湧出していたという。清水寺の清水で酒を造るのが奈良の酒造の始まりとも伝える。清水通りには横田屋を屋号とする同族の3家があり、上（当店）と下（現今西清兵衛商店）の横田屋が酒造、中（市指定文化財の旧青田家住宅）の横田屋が醤油醸造を営んでいた。当店と今西清兵衛商店は今も酒造を継承する。 主屋は棟札から明治4年(1871)の建築と判明するが、塀は建て替えられた可能性がある。西側25mが当初の敷地で、明治26年(1893)に青田家から八木家が取得した。東側15mは昭和50年前後に取得した。令和4年に八木酒造から商号変更し現在に至る。近年まで敷地後方に工場が建ち並んでいたが、多くが解体され、令和8年に敷地全体が整備された。			
建物特徴 ・ 改修履歴	主屋は主体部の西に落棟座敷が付く形式であるが、落棟座敷の前面にも建物を設け、その西の道路境に高塀が続く。主体部は通り土間の西に居室を1列に並べる構成で、摺上大戸、出格子、虫籠窓、袖卯建、出桁等の伝統的意匠をよく留める。出格子下の土間に鹿除けとされる尖った小石を配するのは青田家と同様である。内部は改修もみられるが、土間部後方は高い吹抜で、太い梁上の束に貫を縦横に組んでおり、豪壮な大空間となっている。 落棟には上手に10畳間と15畳の座敷を前後に並べる。床・棚・書院を構え、襖に障壁画を描き、長押の釘隠や襖の引手にも意匠を凝らす。落棟前面の建物は、道路側は中央の出格子窓以外は全て壁とするが、中庭側は全面ガラス戸とし高欄付の濡縁を設ける。中庭は、前後の建物を結ぶ擬宝珠高欄付の太鼓橋を中央に設けた瀟洒な空間とする。 <改修履歴> 昭和中後期：東側正面改修。主体部表を土間、落棟前棟を板敷の土間に改修。 昭和末頃：2階内装改修。土間内に事務室設置。 平成：東側正面改修、主体部表から2室目を土間に改修。落棟下手の間仕切を撤去し板間に改修。塀に出入口新設。 令和7年：内部改修、屋根葺替、正面・妻面・塀の壁塗替等			
活 用	店舗として活用。			
価 値	全体に豪商の町家の姿をよく留め、奈良における酒造発祥の地とも伝える場所で酒造を継承する点も特筆され、奈良町の町家の暮らしにみる歴史的風致及び伝統的な工芸と産業にみる歴史的風致の維持と向上に寄与する。			



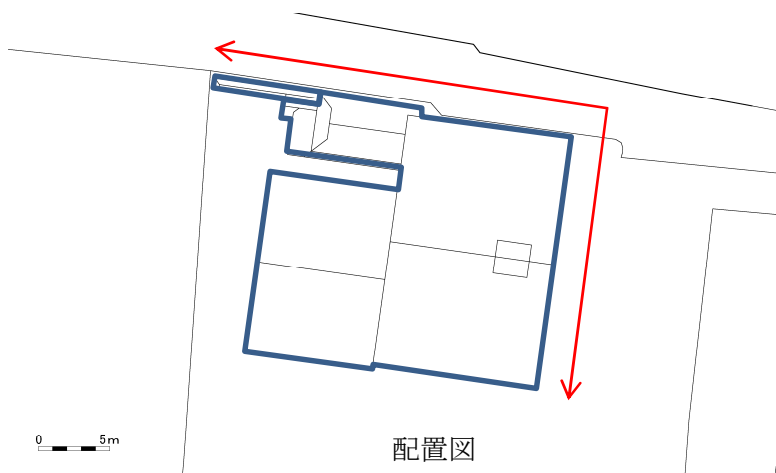
歴史的風致形成建造物 指定台帳



付近見取図

- 該当建造物
- ↔ 公開範囲

0 5m



配置図